

バリアフリーニュース（第16号） 2023年度報告

小学生や交通事業者等を対象とした バリアフリー教室を実施しました！

国土交通省東北運輸局では、高齢者や障害のある方の社会参加を後押ししながら、皆さんが生活しやすい環境づくりを目指した取組を行っております。

その取組の1つである、「心のバリアフリー」（お互いに理解し合い、支え合う気持ち）の育成・促進を目的としたバリアフリー教室について、2023年度の取組の一部をご紹介します。

バリアフリー教室①

実施日：令和5年4月28日（金）

実施場所：仙台医療福祉専門学校

参加者：介護福祉学科1学年

項目：高齢者疑似体験・介助体験・車椅子体験、
視覚障害者疑似体験・介助体験

高齢者疑似体験と車椅子体験では、体に重りやサポーター、ゴーグル、ヘッドホンを装着した状態で歩行、階段の昇降、車椅子での走行を体験しました。

また、視覚障害者疑似体験では、アイマスクを装着し白杖を持った状態で、介助者にリードしてもらいながら階段の昇降、点字ブロック上の歩行、エレベーターへの乗り降りの体験を行いました。

体験した生徒からは、「高齢者の体の動かしにくさを体験し少しでもサポートしたいと思った」、「白杖を使用するの歩行は、怖くて思うように動けなかったため、介助者の声かけが大切だと気づいた」などの感想をいただきました。



バリアフリー教室②

実施日：令和5年7月3日（月）

実施場所：仙台市立七北田小学校

参加者：小学校3年生

主催：泉中央地域包括支援センター

項目：高齢者疑似体験・介助体験

児童は、2人1組のペアで高齢者と介助者を交互に体験しました。体験では、手足に重りやサポーター、ヘッドホン、ゴーグル、軍手を装着し介助者にサポートしてもらいながら、歩行や階段の上り下り等を体験したり、軍手をした状態で、物を掴んだり、杖を持ったりすることで、手先の操作の感覚を体験したりしました。特に、階段の上り下りの際は、介助者役の児童が高齢者役の児童をよくサポートしながら歩いている姿が印象的でした。



バリアフリー教室③

実施日：令和5年7月18日（火）

実施場所：東北運輸局

参加者：宮城県内タクシー乗務員

共催：宮城県タクシー協会

協力：日本盲導犬協会仙台訓練センター、仙台市社会福祉協議会

項目：講話、意見交換、車椅子・アイマスクを使用したのタクシーの乗降車・介助体験

講話では、盲導犬協会仙台訓練センター様より、盲導犬の役割や盲導犬ユーザーの義務、盲導犬として活躍するために行う訓練等について講話をいただき、講話を踏まえた意見交換では、タクシー乗務員の盲導犬ユーザーに対する乗降車時の不安や悩み事について意見交換を行いました。盲導犬ユーザーの日頃の管理と盲導犬の訓練の内容を知ること、盲導犬同伴でのタクシーの利用に対する不安や悩み事の解消に繋がったと思います。

また、実際のタクシー車両を使用した乗降車体験では、車椅子を使用した乗降と介助体験、ア

イマスクを装着した状態での乗降と介助体験を行いました。車椅子を使用した乗降体験では、スロープを使用し、タクシー乗務員が車内への乗り降りをサポートしました。また、アイマスクを使用した乗降体験では、車両の屋根の高さやドアの位置を把握してもらうため、アイマスク使用者に声をかけながら手を取ってサポートしました。

最後には、盲導犬協会仙台訓練センター様による盲導犬同伴でのタクシーへの乗降のデモンストレーションを行っていただき、乗降時のポイントや注意事項等を教えていただきました。

参加者からは、「逆の立場になって分かった事が多くあったので、今回の体験を活かして全ての利用者が安心して利用できるよう努めたい」、「普段患者さんをタクシーに乗せているが、実際に自分が目の見えない状態で乗降体験すると、タクシーの形状が分からない中で乗降を行うのは非常に大変なことだと感じた」などの感想をいただきました。



バリアフリー教室④

実施日：令和5年9月9日（土）

実施場所：秋田駅前「アゴラ広場」

参加者：第26回「秋田バスまつり」来場者

主催：公益社団法人秋田県バス協会

項目：視覚障害者疑似体験・介助体験

秋田市その他関係団体のご協力のもと秋田県バス協会主催の「秋田バスまつり」会場にて「交通バリアフリー教室」のブースを設け、来場者向けに視覚障害者疑似体験、介助体験を実施しました。

アイマスクを装着し白杖を持った状態で、介助者にリードしてもらいながら点字ブロック上の歩行し、バスへの乗り降りの体験を行いました。

体験者からは、「白杖を使用するの歩行はとても怖く、介助者の声かけが大切だと気づいた」「点字ブロックをたよりに歩くことがとても大変なことだと知り、点字ブロックの大切さが良く分かった」などの感想をいただきました。



バリアフリー教室⑤

実施日：令和5年9月13日（水）

実施場所：楽天モバイルパーク宮城

参加者：仙台市立原町小学校 4年生

協力：株式会社楽天野球団、仙台市社会福祉協議会、仙台バリアフリースターセンター

項目：講話、車椅子体験、ボッチャ体験

東北運輸局では、平成24年度から楽天モバイルパーク宮城でバリアフリー教室を開催しており、今年で10回目の開催となりました。このスタジアムは、平成21年度に「国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰」を受賞した施設で、球団のご協力をいただき開催しているものです。今回は、講話・車椅子体験・ボッチャ体験の3つを実施しました。

講話は、車椅子ユーザーである仙台バリアフリースターセンターの及川様より、普段の生活や生活の中での困り事等を通して、バリアフリーについてご講話いただきました。

車椅子体験では、仙台市社会福祉協議会様より、車椅子の操作方法を教えていただき、児童が2人1組となり実際に車椅子でスタジアムの車椅子席まで移動・介助の体験をしたり、木の板を使用して段差を再現し、車椅子の方にとって段差がいかにバリアとなるかを体験しました。

ボッチャ体験では、正式なコートのハーフコートサイズを用意し、児童は4チームに分かれ競技を体験しました。ボッチャは、パラリンピックの正式種目の1つで、年齢や性別、障害のあるなしに関わらず誰でも参加できるのが特徴です。ルールは、自身のチームのボールを中心となるボールにより近づけられると点数が入り、合計点数で勝敗を競います。体験の最初には、仙台市バリアフリースターセンター様より、競技で使用するランプ（勾配具）を使った投げ方をデモンストレーションしていただきました。体験中の児童は、チーム内で声を掛け合い楽しみながら取り組んでいました。

体験した児童からは、「車椅子での移動が大変なことが分かった」、「ボッチャ体験で、ボールを投げる位置の調整や投げ方にも工夫が必要で難しかった」などの感想をいただきました。



バリアフリー教室⑥

実施日：令和5年9月14日（木）

実施場所：山形県自動車会館

参加者：タクシー乗務員9名

（一部プログラムのみ山形運輸支局新規採用職員3名も参加）

主催：一般社団法人山形県ハイヤー協会

協力：山形運輸支局

項目：高齢者疑似体験・介助体験・車椅子体験・視覚障害者疑似体験

一般社団法人山形県ハイヤー協会様主催の「ユニバーサルドライバー研修」（円滑な移動が困難な方に適切な接遇を行うタクシー乗務員を養成するための研修）の機会に合わせ、タクシー乗務員の方々に、高齢者疑似体験・視覚障害者体験・車椅子体験などを実践していただきました。

山形運輸支局からも令和5年度新規採用職員3名が一部プログラムに参加させていただき、タクシー乗務員の皆様と一緒に、車椅子体験や視覚障害者体験を実践するとともに、身体の不自由な方に対する介助の方法や基本動作について学びました。

参加した職員は、初めての体験ということもあり、車椅子利用者や視覚障害者の方の移動がいかに大変かということを感じるとともに、「学んだ内容を今後の業務に活かしたい」、「国土交通省職員の一員として、バリアフリーに対する意識を今後も持ち続けていきたい」といった前向きな声が聞かれました。



バリアフリー教室⑦

実施日：令和6年2月9日（金）

実施場所：仙台第四合同庁舎 2階専用会議室

参加者：東北運輸局職員

協力：仙台市社会福祉協議会

項目：講義・講話、グループワーク、手話体験

仙台市社会福祉協議会様で実施している「仙台市障害理解サポーター養成研修」として、東北運輸局においてバリアフリー教室を実施しました。東北運輸局職員が参加し、「聴覚障害」をテーマに講義・講話、グループワーク、手話体験を行っていただきました。

講義・講話では、障害とは何か、社会にあるバリアとは何か、障害を持つ方への配慮等について、お話いただきました。また、障害者差別解消法についても触れ、合理的配慮についてもお話いただきました。グループワークと手話体験では、手話での自己紹介の仕方や日常で使う挨拶等を教えていただき、教えていただいた挨拶を交えながらお互いに自己紹介をしてコミュニケーションの取り方を学びました。



参加した職員からは、「今回の話で障害のある人に寄り添って仕事や生活をしていきたいと思った」、「障害にも様々な種類があり、周囲や社会が工夫していくことで、全員が生きやすい世の中に近づいていくのではないかと思った」等の感想をいただきました。

令和5年8月25日 第5回移動等円滑化評価会議 東北分科会を開催しました！

本分科会は、平成30年5月に改正されたバリアフリー法に基づき、国土交通省に設置された移動等円滑化評価会議の下に設置されており、障害のある方々の参画を得て、各種団体などとともに東北地域におけるバリアフリー化の進展状況の把握・評価を行うものです。今年度で第5回目の開催となり、昨年度に引き続き対面形式とオンライン形式での併用開催となりました。

会議では、バリアフリー法に基づく国の基本方針に定める整備目標の達成状況報告や、当事者目線に立ったバリアフリー環境の課題等に関する中間的な整理案についての意見交換等を行いました。現在、「施設のハード・ソフト両面のバリアフリー環境について、バリアフリー基準に定める要件はクリアされていても、当事者の目線に立ったアクセシビリティや使いやすさが十分に確保されていないというケース等が存在するため、当事者目線で評価・検証することが重要であり、そのための新たな“ものさし”が必要」といった課題があります。今回、国土交通本省において、当事者目線での施設等の評価指標を把握・検証するため、都内の鉄道駅におけるバリアフリー化の状況の現地調査、また、現地調査等を踏まえたアンケート調査やテーマ別意見交換会を行い、今後のガイドライン等の改訂も見据え、日常利用の多い鉄道駅を題材として関係者にわかりやすいように当事者の施設利用の場面ごとにバリアフリー環境の課題を記載した中間整理案をまとめました。東北分科会では、中間整理案に記載された課題について、委員の皆様から具体的な事例等をご報告いただき意見交換を行いました。

東北運輸局としましては、委員の皆様から貴重なご意見をいただきながら、バリアフリー整備の促進に取り組んで参りますので、ご協力よろしくお願い致します。

【日時】 令和5年8月25日（金） 13：30～15：30

【場所】 TKP ガーデンシティ仙台 ホール21A

（仙台市青葉区中央1-3-1 アエル21階）

【出席者】 有識者、高齢・障害者団体、

施設設置管理者・関係協会、関係行政機関など

【内容】 バリアフリー化の進展状況の把握・評価についてなど

↓会議の詳細はこちらからお願いします。

第5回 移動等円滑化評価会議 東北分科会（東北運輸局ホームページ）

https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/kk/kk-sub01_tohokubunkakai_5.html



このニュースは、バリアフリー関係の話題を中心にお届けしています。
お問い合わせがございましたら、下記までご連絡をお願いいたします。



東北運輸局 交通政策部 バリアフリー推進課
〒983-8537 仙台市宮城野区鉄砲町1番地
仙台第四合同庁舎 3階
TEL 022-791-7513